

○ 調査問題

① 次の問題に答えましょう。

$$(3) 9.62 \div 37$$

○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】 小数÷2けたの数を計算する

【出題の趣旨】 除数が整数である場合の小数の除法の計算ができる

○ 誤答分析

解答類型	① 正答 0.26 と解答	2 26または2.6 と解答	3 その他	0 無解答	「3 その他」 に含まれる 頻出の誤答例
反応率	66.5%	9.6%	19.9%	4.0%	なし

- 正答率は66.5%であった。無解答率は4.0%で他の計算に比べて高く、児童が困難を感じていると捉えられる。
- 「26または2.6」と解答している9.6%の児童は、小数点の位置を間違えてしまった誤答が見受けられる。空位を意識できずに解答してしまっている。
- この問題は、乗法、減法、小数点の位置など数と計算に関わる様々な技能が必要となる。誤答の原因がどこにあるのを分析し、個に応じた指導の充実を図る必要がある。

○ 指導上のポイント

誤答を生かした授業展開で筆算に書かれた数を構成するの単位に着目させ、考えさせる指導

① 誤答を提示する

$$\begin{array}{r} 26 \\ 37 \overline{) 9.62} \\ \underline{74} \\ 222 \\ \underline{222} \\ 0 \end{array}$$



小数点を忘れているよ。
検算をすると答えが正しくならないよ。



主体的、対話的で深い学びの視点。

どこに小数点を打てばいいのかな。
わり算の性質について確認しよう。



② 小数の除法の計算の仕方を理解できるようにする

小数の除法の計算の仕方を指導する際には、形式的に筆算の計算の仕方を指導するのではなく、既習の整数の除法「(整数) ÷ (整数)」を基にして、数の仕組みや(小数) ÷ (整数)の計算の意味や仕方を考えられるようにすることが大切である。

$$\begin{array}{r} 9.62 \div 37 = 0.26 \\ \downarrow \times 100 \qquad \downarrow \times 100 \quad \uparrow \div 100 \\ 962 \div 37 = 26 \end{array}$$



単位の考えを使って、9.62を0.01が962個あるとみて、 $(962 \div 37) \div 100$ のように考えることができるね。

③ 正答を提示する

$$\begin{array}{r} 0.26 \\ 37 \overline{) 9.62} \\ \underline{74} \\ 222 \\ \underline{222} \\ 0 \end{array}$$



2.22は、どんな数ですか。

2と0.22を合わせた数です。
9.62 - 7.4の答えです。
0.01が222こ集まった数です。



④ 適用問題に取り組む

他の数字でもできるかな。
同じように、計算方法を説明してみよう。



- 計算の結果の見積もりや確かめの習慣を身に付けさせましょう。
- 数の仕組みと計算の仕方を関連付けて指導を行いましょう。

○ 復習シート・コバトン問題集の活用

(3) $6.72 \div 24$ レベル6

【出典】 復習シート
令和元年度作成 5年「数と計算」
レベル6